



身体的虐待のリスクが高い家族を支援するための 親子合同認知行動療法～CPC-CBTイントロダクトリー研修

参加費40,000円

30名様(先着順)

【日時】 ▶▶ 2019年12月17日18日 AM 9:30～PM17:30

【会場】 ▶▶ 兵庫県こころのケアセンター 3階大研修室

(兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番2号)

阪神電鉄「春日野道」駅東口から南へ徒歩約8分

- 身体的虐待の影響を適切にケアし、家族との絆を強め、将来的な虐待のリスクを減らす方法を学びたいですか？
- 身体的虐待のトラウマのケアをしたあとに、家族の元に子どもを帰すことに不安がありますか？
- 虐待をする可能性のある親の元に子どもを帰す際に、安全かつ効果的で、最適な結果をもたらす技法を身につけたいですか？

「はい」と答えた専門家の皆様、親子合同認知行動療法(Combined Parent-Child Cognitive Behavioral Therapy :CPC-CBT)の2日間のイントロダクトリー研修にご参加ください。

CPC-CBTは、身体的虐待がすでに起こった家族に対する介入だけでなく、身体的虐待のリスクがあると考えられる家族に対しての予防プログラムとしても、その効果が実証されています。

CPC-CBTのセラピストは、養育者が前向きな家庭環境を作り出し、子どもたちを楽しませ、そして親であることを楽しめるように手助けをします。CPC-CBTの目標は、子どもが虐待的な経験のトラウマから回復するのを手助けすること、暴力に頼らない子育てができるように養育者を支援すること、親子の絆を強めること、そして家族全員の安全性を高めることが含まれます。

CPC-CBTの成り立ちや構成要素について

PTSD症状のケアについて

養育者のモチベーションの高め方について
etc...



本トレーニングは、CPC-CBTセラピストになるための要件の一部を満たします。
TF-CBTのイントロダクトリートレーニングを受講していることが必要です。

(研修の成果は、TF-CBTおよびトラウマインフォームドケアの効果的な普及啓発方法に関する研究(研究代表者 亀岡智美)に反映します。)

募集案内・申込書

<http://www.j-hits.org>

主催

兵庫県こころのケアセンター

身体的虐待のリスクが高い家族を支援するための 親子合同認知行動療法～CPC-CBTイントロダクトリー研修

～講師紹介～

●講師: Melissa K. Runyon 博士

メリッサ先生は、トラウマの評価と治療、ならびに子ども虐待と暴力の影響について専門的な訓練を受けた、児童臨床心理学者です。メリッサ先生は、最近故郷のケンタッキー州に戻られるまでの16年間、ローワン大学オステオパシー医学部内にある、児童虐待研究・教育・サービス研究所(CARES Institute)において、治療部門のディレクターや精神医学の教授として勤められました。CARES InstituteはCPC-CBTやTF-CBTが開発された場所でもあります。メリッサ先生は、TF-CBTの共同開発者であるデブリンジャー博士と共に、身体的虐待のリスクがある、もしくは身体的虐待の事実が認められた子どもやその家族が有する多面的な問題に対処するためにCPC-CBTを開発しました。メリッサ先生は、CPC-CBTおよびTF-CBTの実施において、治療者・治療責任者・スーパーバイザーとして従事されたほか、アメリカの国立精神衛生研究所(NIMH)では主導的役割を担われ、CPC-CBTに関する研究やトレーニングについて幅広い経験をお持ちです。子ども虐待やトラウマの分野でご著書も多く出版されており、CPC-CBT治療マニュアルおよび性的虐待を受けた子どもへのTF-CBTの適用に関する本の共著者でもあります。また、メリッサ先生は過去10年にわたり、スウェーデンにおけるCPC-CBTの普及に尽力されてきました。さらに、米軍内やオーストラリアにおいてもCPC-CBTのトレーニングを進めているところです。メリッサ先生は、日本においても虐待を受けた子どもやその家族が、根拠に基づいたトラウマインフォームドケアを受ける機会を増やすことを願われ、日本の専門家の皆様と経験を共有することを楽しみにしています。

